

<みよみよ はればれ まんなか>



美花果便り



Vol.43

都筑の町のほほまんなかで

～その 43～

Yさん 97 歳。年が年ですから、お身体も大変です。先日もヘルパーさんから電話で具合が悪いから看護師さんと呼んでとコールがありました。訪問してみると、ベッドに座って「昨日から具合が悪いのよ。眠てないのよ。」と。熱もないし、血圧も大丈夫、脈もしっかりしているし、とりあえず、横になって寝ましようということにして、申し送りノートに記録しながら様子を見てみると、トイレに行くといって起きてきました。見守っていると無事にトイレにも行くことができたので、少しお話をしました。「私ね、最近着物着ているのよ。」という、「え～！ そうなの？」と。スマホで写真を見せると、「あら～、自分で着たの？」と。YouTubeを見て練習をしていることを話すと、「そう？ もっと見せて！！」とスマホの画面にくいついてきます。

「たいしたものね。でも、この裾はダメね。もっと下げて揃えて。この帯のお太鼓も、長さの配分が良くないわね。襟ももっと抜かないとね。お腹は、引っ込めて、帯を載せる。帯の位置ももっと高くていいわね。自分で着たの？ たいしたものね～。この足の位置これはダメ！ 開いている。足はこう！」と両手の先を寄せて内またにするように教えてくれました。着付けの先生をされていた方です。

「もっとみせて！ いい着物ね～。この帯もいいじゃない。あ～～私が着せてあげたい！」と。

昨年母が残してくれた着物を孫娘たちに着せたことから着物に目覚めてしまった私ですが、何しろ初心者です。着付けの専門家からしたら、ダメダメだらけです。これからも教えてくださいね。 松田

みよみよ看護

【訪問看護ステーション】

住所：〒224-0033

横浜市都筑区茅ヶ崎東 4-9-18

電話：045-949-6277

FAX：045-949-6278

メール：e-matsuda@ni-care.jp

ホームページ：<http://www.ni-care.jp/>

「看」という文字は、手をかざしてよく見るという意味合いがこめられています。

中国の禅僧が我々の中に存在する宝を見極めよ、という意味で「看看（みよみよ）」といっているところから名前をつけました。

皆様の心の中にある宝物を大切に、お家での生活を支えます。

※月・水・金 女性の
理学療法士がいます。

若干空きあります！

【コインランドリー】

私の父親は 87 才で一人暮らしをしています。

先日「布団をコインランドリーで洗いたいから手伝ってよ。」と電話がありました。

はて？今までそんなことを言うことがなかったので、なんだろうと思いながら父の家に行ってみたところ、どうやら、最近のコインランドリーは進化したというのをテレビの情報番組でやっていたそうで、それを見て自分もやってみたいと思ったのだそうです。

家庭用の洗濯機より容量が大きく、短時間で一気に高温で除菌・消臭・ダニ退治をしてくれるようです。父は私にコインランドリーの進化について語ってくれました。

父の話では、「布団乾燥機ではできなかったこととして、洗濯機だから回転しながらダニの死骸を叩き落とすことができる」のだそうです。

ちなみに我が家の洗濯機は毛布一枚を洗濯から乾燥までは一晩かかりますが、近所のコインランドリーは 50 分でした。最短 20 分というところもあるようです。すごいですね。

父は、高齢で体は老化してきたけれど、新しいことに興味を持ち、娘を呼び出して申し付けて楽しそうにしているので、季節ごとに往復して持ち運ぶのはちょっと面倒だけど、まあいいかと思いました。



看護師 板倉 裕美

～風に吹かれて～

金木犀の香りが、町に漂っています。キンモクセイの開花時期は、9 月中旬～10 月下旬ということですが、2024 年度事務所脇の開花は、私の記憶によれば、10 月 14 日月曜日でした。金木犀の花言葉を調べてみたら、5 つもありました。

「謙虚・謙遜」「気高い人」「真実」「陶醉」「初恋」という 5 つの花言葉はいずれも、甘く強い香りからくるもののようです。その香りも開花している 1 週間という短い期間です。そういえば、昔、キンモクセイの香りのするガムがあったのを覚えていますか？あれ？私だけ？？ありましたよね、確かに。でも口の中から金木犀の香りがして鼻に抜けていくのは、いまひとつで、また買おうとは思いませんでした。

中川の駅前には金木犀の大きな木が 5～6 本並んでいて、満開の花と香りが充満していました。その前にあるカレー屋さんの仕込みのカレーの臭いと相まって、なんとも不思議なおいが漂う、秋晴れの町となっていました。(笑)



BaBa